

平成17年7月8日

香川県内中学校
バスケットボール部顧問 殿

香川県中学校体育連盟
バスケットボール競技部
部会長 三宅 亨

コーチの失格・退場についての中体連での特別ルール（通達）

日頃からバスケットボール部活動の指導にご尽力いただいていることにお礼申し上げます。今回、香川県バスケットボール協会審判部より競技規則の運用について問い合わせがあったことに関して香川県中学校体育連盟バスケットボール競技部の見解を県内の中学生のバスケットボール指導に携わっている方々に周知徹底をはかるため、以下のように通達させていただきます。

審判部からの問い合わせはコーチが失格・退場になった場合にキャプテン（中学生）が代行してよいか、没収にするべきか、という内容でした。この件に関して競技部と中体連事務局で協議した結果をお知らせいたします。

2005～バスケットボール競技規則の37.1.5では「コーチが失格・退場となった場合は、スコアシートに記入されているアシスタント・コーチがコーチの役目を引き継ぐ。アシスタント・コーチがスコアシートに記入されていない場合は、キャプテンがコーチの役目を引き継ぐ。」となっています。しかし、中学校ではキャプテン（中学生）がコーチの役目の責任は持てないと判断し、キャプテンがコーチの役目を引き継がなければならない状況になった場合には、その試合は没収試合とし、勝敗は没収の原因となったチームの負けとすることとしました。

ご理解の上、特別ルールの運用にご協力お願いいたします。また、競技部といたしましてはこの特別ルールが適用されることがないように、願っております。

参考 2005～バスケットボール競技規則より

第37条より

- 37.1.1 ディスクォリファイイング・ファウルとは、プレイヤー、交代要員、コーチ、アシスタント・コーチ、チーム関係者のファウルで、特に悪質なものはなはだしくスポーツマンらしくないものをいう。
- 37.2.2 このファウル（ディスクォリファイイング・ファウル）を宣せられた者は失格・退場を命ぜられ、ゲームが終わるまで自チームの更衣室（ロッカー・ルーム）にいるかコートのある建物から立ち去るかしなければならない。
- 37.1.3 コーチは、次の場合にも失格・退場になる。
- (1) コーチ自身のスポーツマンらしくないふるまいによるテクニカル・ファウルが2回記録された場合
 - (2) アシスタント・コーチ、交代要員、チーム関係者のスポーツマンらしくないふるまいによってコーチにテクニカル・ファウルが3回記録された場合、あるいはそれらのテクニカル・ファウルとコーチ自身のテクニカル・ファウルとを合わせて3回のファウルが記録された場合

第38条より

- 38.1.1 ゲームは、審判、テーブル・オフィシャルズ、コミッショナー、両チームのプレイヤー、コーチ、アシスタント・コーチ、交代要員、チーム関係者を含む、これらすべての人たちの完全な協力によって成立するものである。
- 38.3.2 コーチ、アシスタント・コーチ、交代要員、チーム関係者のテクニカル・ファウルとは、それらの人たちが、審判、コミッショナー、テーブル・オフィシャルズ、相手チームに対して失礼な態度で接したり、失礼な態度で話しかけたり触れたりすること、およびゲーム上の手続き上、管理上の規則に違反することをいう。